

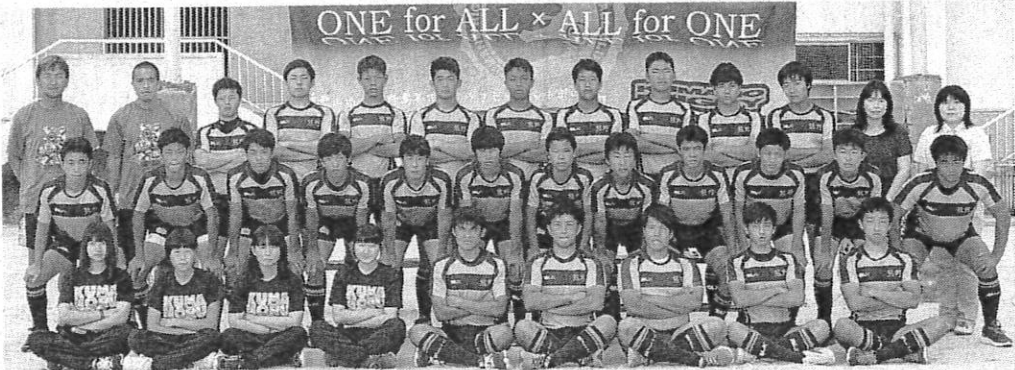
# 花園への道

全国高校ラグビー県予選

全国高校ラグビー県予選が29日、和歌山市の和歌山工業高校で開幕する。田辺・西牟婁から出場する3校の主将にチームの紹介や大会への意気込みを語ってもらった。

## チーム紹介

# 田辺・西牟婁から3校出場



### 挑戦する気持ちで

熊野

春先の新人戦や団体予選で負けた悔しさをバネに、ウェイトトレーニングや坂道ダッシュなど肉体を鍛えることを

重点的にしてきた。その結果試合中はずっと走れる体力が身に付いた。

8月の長野県の菅平高原での合宿では、強豪校との練習試合で鍛えられた。それ以降成長が目に見えるようになってきた。

新チームになって、部の皆で考えたスローガンは「常に挑戦」。これまでの大会で思っていたような結果が出ていないので、挑戦する気持ちで大会に臨みたい。

熊野は2013年以来、花園が遠のいているので、今年こそはという思いがある。目標は県大会優勝と、その先の花園を見据えている。

朝に高校の清掃活動をした。保育園児や中学生にスポーツの楽しさを教えるスクー

グラウンドに立てば、学年関係なくそれぞれがチームを盛り上げていく。展開の速い、常に敵陣でプレーできるような試合をしたい。

(木下直政)

- 〔選手〕3年 木下直政、五味良幸、正司律城、橋園竜弥、山下智也
- ▽2年 柳谷来依、楠本唯陽、濱口龍世、松田翼、垣本拓海、矢野幹大、雨積慎一、坂本亮明、清水幸太、鳥羽弘人、吉澤颯太▽1年 谷本瑠佳、橋園祥季、小鮎和樹、田上比呂、川口輝大、柴山貴亮、田上亮太郎、南大智、谷口遥馬、谷中次介〔マネジャー〕3年 阪本絵美子、濱萌、植本明日香▽2年 山下明子

### 声と元気で臨む

田辺

春は田辺工業との合同チームで大会に出場していたが、7月から部員が15人になり、単独チームで出ることになった。どこまで進めるかは未知数だが、一つでも多く試合に勝ちたい。

人数が少ない分、メンバーの信頼関係は強い。全員で試合を盛り上げていきたい。

「声と元気」が自分たちのモットー。練習始めにアップで声を出してコミュニケーションを図り、ボールを使ったミニゲームで明るい雰囲気をつくらせてから練習に取り組み

ようになっている。試合の時でも「声と元気」を忘れないようにしたい。

フォワードの選手はプレーの意味や試合における役割を理解することで確実なプレーができるようになってきた。バックスも相手をよく見て判断できるように成長してきた。

試合では、相手の雰囲気にもまれず、自分たちがやってきたことを発揮したい。辛抱強く守り、チャンスで攻め込む試合をしたい。

(那須輝一)

〔選手〕3年 那須輝一、曾我部貴大▽2年 西原将生、智也、田植陸斗、垣内賢人、大南直史、松下涼▽1年 井濤寿太郎、松山亮斗、谷口翔哉、庄司拓矢、福山一茶、宮坂勇輝、山崎航介〔マネジャー〕2年 濱田桜花、田上ゆい▽1年 赤木小夏



### まずは1回戦突破

田辺工業

正規の部員は6人。この大会のために、運動神経が良かったり、ムードメーカーだったりする助っ人選手たちが入ってきた。皆理解も早く、スムーズに練習ができていく。3年間ラグビーを続けてきた主将の自分がチームを引っ張っていく。

メンバーは個性豊かで、テンションの高いまま練習を始める。そしてタックルの練習になると本気のスイッチが入る。練習中にも常に前向きな言葉を掛けることを意識している。

昨年の大会の反省から、フォワードは体を大きくする、バックスはパスのミスをなくすといった課題に取り組みしてきた。練習前に部室やその周りを掃除したり、道具をそろ



えたりと平日頃の心掛けから人も増えた。改めた結果、応援してくれる

ト4に向け、まずは1回戦突破を目指す。落ち込んでも皆でフォローし合えるチームなので、常に笑顔で声を張ることを心掛ける。

メンバー全員が「ラグビーは楽しい」と思えるような大会にしたい。

(三栖祐真)

- 〔選手〕3年 竹平万希也、坂田出雲、山西寛、面屋聡紀、竹内幹、赤堀圭吾、三栖祐真、田中奎祐、稲垣航太、平田佑馬、小門拓馬、花田快▽2年 前優太郎、新井真澄、木下陸斗▽1年 玉瀬英太郎